

# News Release

2016年11月2日

## 津波避難訓練の実施について

商船三井フェリー株式会社（本社：東京、社長：大江 明生）と大洗港入出港安全対策協議会（会長：茨城海上保安部長）は、11月5日「津波防災の日」にあわせ、茨城港大洗港区にて大型フェリーを使用した国内初の津波避難訓練を行いました。

当社は今後も更なる安全対策の充実をはかり、安全運航の徹底に努めて参ります。

### <本訓練の概要>

- 実施日：2016年10月31日（月）
- 実施場所：商船三井フェリー（株）“さんふらわあ だいせつ”  
大洗港第3埠頭東岸壁および大洗フェリーターミナルビル内
- 目的：緊急時において適切な対応を行うことができる体制の確立と、関係各所との連携の強化や防災に対する意識の高揚を図るため
- 主催：大洗港入出港安全対策協議会、商船三井フェリー（株）
- 参加機関：国土交通省海事局、関東運輸局、茨城運輸支局、茨城海上保安部、茨城県港区事業所等、大洗町役場、大洗消防署、大洗漁協、大洗ターミナル株式会社、株式会社茨城ポートオーソリティ、関東旅客船協会、茨城県立海洋高校（順不同）
- 訓練内容：「福島県沖で地震が発生、津波警報が発令された。」との想定の下、乗船前のお客様を待合ターミナルや乗用車・トラックから緊急避難誘導し、船首ランプウェイから船内へ。  
出港に際しては係留ロープを専用のナイフで切断。茨城海上保安部巡視艇【なかかぜ】の先導で港外へ向け緊急離岸。

以上



（避難風景 茨城県立海洋高校生徒）



（緊急離岸のため係留ロープを切断）

本件に関するお問い合わせ先

商船三井フェリー株式会社 船舶部

TEL：03-6895-4004 FAX：03-6895-4023